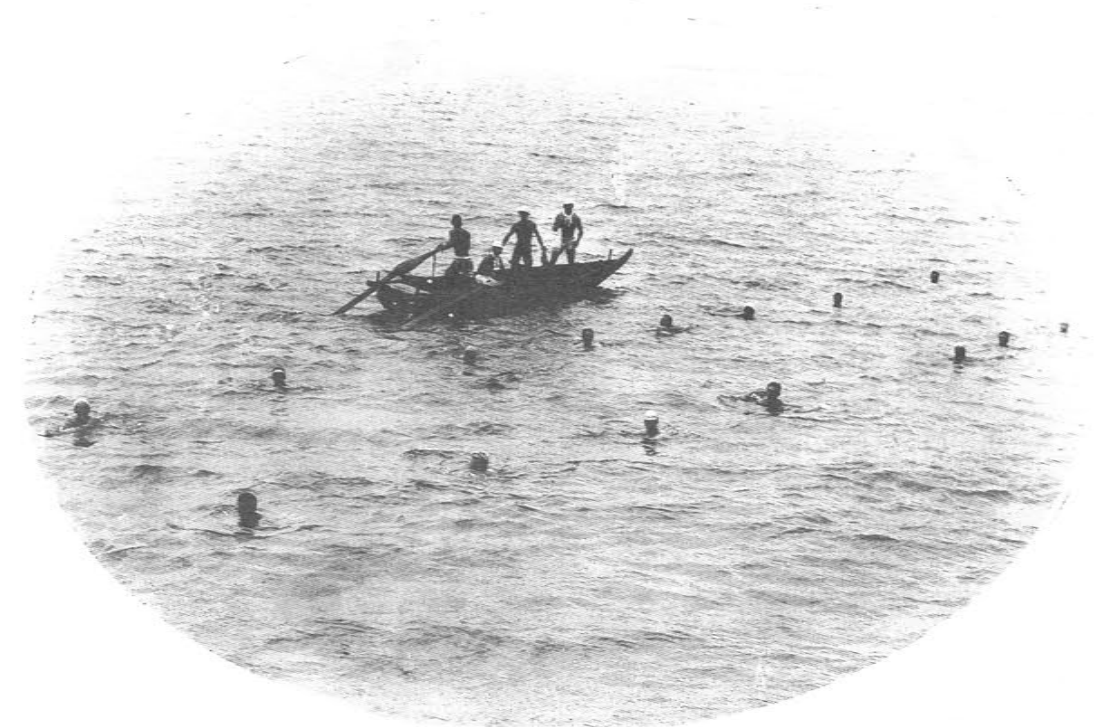


神戸大学学報

No. 471

1995. 12 庶務部庶務課発行



遠泳風景（大正3年頃）

目

◇学内ニュース	2
・新役職員紹介	
・平成7年秋の生存者叙勲	
・医学教育等関係業務功労者の文部大臣表彰	
・平成7年度文部省永年勤続者表彰	
・平成7年度兵庫県科学賞の受賞	
・平成7年度神戸市文化賞の受賞	
・平成7年度農学部附属農場「収穫祭」	
・平成7年度医学部解剖体祭	
・第13回医学部公開講座の実施	
・第10回神戸大学医学部学術講演会	
・平成7年度秋の名誉教授の会の開催	
・平成7年度公務員レクリエーション共同行事	
神戸地区「卓球大会」の実施	
◇人事	5

次

・異動 ・研修 ・海外渡航	
◇学事	12
・平成8年度科学研究費補助金研究計画調書の集計結果	
・平成8年度神戸大学学生募集要項（一般選抜）	
・平成8年度神戸大学経済学部昼間主コース推薦入学学生募集要項	
・平成8年度神戸大学夜間主コース推薦入学学生募集要項	
・平成8年度大学院学生募集要項（抜粋）	
・平成8年度大学院学生募集（第2次募集）要項（抜粋）	
◇掲示板	42
・職員の住所変更等 ・日誌	
◇神戸大学100年史編集室だより	43

学内ニュース

◇新役員紹介

(11月16日発令)

※医学部附属病院長



教授 齋藤 洋一
(昭和8年6月3日生)

(学歴)

昭和34年3月 東北大学医学部 卒業
昭和39年3月 東北大学大学院医学研究科
博士課程 修了

(学位)

昭和39年3月 医学博士(東北大学)

(専攻)

外科学

(職歴)

昭和39年8月 東北大学医学部附属病院助 手
昭和47年11月 " " 講 師
昭和48年11月 " 助教授
昭和54年9月 神戸大学医学部教 授
平成6年4月 " 評議員
(平成7年11月16日まで)
平成7年11月 神戸大学医学部附属病院長
(平成9年3月31日まで)

◇平成7年秋の生存者叙勲

本学関係の受章者は次の方々です。
(11月3日受章)



勲三等 瑞宝章
木村 修治
(元医学部教授)



勲三等 瑞宝章
橋本 禎穂
(元保健管理センター教授)



勲三等 瑞宝章
前田 正人
(元教育学部教授)



勲六等 宝冠章
森 道子
(元医学部附属病院
副看護部長)

—人事課—

◇医学教育等関係業務功労者の文部大臣表彰

文部省は、平成7年度の「医学教育等関係業務功労者」に対する表彰式を11月13日(月)ホテルフロラシオン青山(東京都)で行いました。

本学からは、医学部附属病院眼科大池正勝臨床検査技師並びに理学療法部古賀友彌主任理学療法士が選ばれ、それぞれ長年の臨床検査業務並びに理学療法業務に関し、顕著な功労のあった者として表彰されたものです。

—医学部—

◇平成7年度文部省永年勤続者表彰

平成7年度文部省永年勤続者表彰の被表彰者として下記の方々が決定され、11月20日(月)学長室において伝達式が行われました。

学長から、ねぎらいと感謝の言葉があり、表彰状及び記念品が手渡されました。

記

医学部事務部次長	本 田 信 一
経理部経理課長	川 口 幸 一
経済学部事務長	上 本 昇
経営学部事務長補佐	吉 留 政 文



—人事課—

◇平成7年度兵庫県科学賞の受賞

平成7年度兵庫県科学賞を前医学部附属病院長望月眞人教授(産科婦人科学講座)及び農学部桃井節也教授(生物環境制御学科生物制御学講座)が受賞し、11月6日(月)兵庫県公館において表彰式が行われました。

望月教授は、周産期医療の向上に貢献した功績等により、桃井教授は、寄生蜂、ヒメバチ類の系統分類や生態解明に取組み、新しい分類学的体系を集大成するとともに農業昆虫の防除体系の研究に努めるなど農学の向上に貢献した功績等により受賞したものです。



望月眞人教授



桃井節也教授

—医学部・農学部—

◇平成7年度神戸市文化賞の受賞

平成7年度神戸市文化賞に嶋田勝次名誉教授(元工学部教授)が選ばれ、11月9日(木)相楽園会館で表彰式が行われました。

嶋田名誉教授は、神戸の建築・市街地開発など数多くの計画に参画するとともに、神戸市の景観形成構想をはじめとする調査研究報告等を通じ、神戸のまちづくりに貢献した功績等により受賞したものです。



—工学部—

◇平成7年度農学部附属農場「収穫祭」

平成7年度の「収穫祭」が、11月2日(木)午前11時30分から附属農場において行われました。

「収穫祭」は、今年の収穫が無事に終わったことを祝い、田畑の神に感謝する農事の節目となるもので、附属農場恒例の祭事となっています。

当日はさわやかな秋空のもと、西塚学長をはじめ、事務局、農学部及び附属農場の教職員約60人が出席し、最初に、「稲刈りの儀式」を執り行った後、今年の豊作を祝い、なごやかに歓談しました。

また、アトラクションとして農場で収穫した餅米で餅搗を行い、威勢のいい掛け声の中、西塚学長をはじめ腕自慢が軒をとり、搗きたての餅を全員で味わいました。



—附属農場—

◇平成7年度医学部解剖体祭

平成7年度医学部解剖体祭（神戸医科大学から47回）が、11月8日（水）午後1時から祥福寺（兵庫区五宮町）において行われ、西塚学長をはじめ、遺族、来賓、医学部教職員、学生等約800人が参列し、故人のご冥福をお祈りしました。

この1年間における解剖体数は941体（系統解剖88体、病理解剖123体、法医監察解剖730体）で、本学部創設以来26,573体に達しました。

併せて、献体者に対する文部大臣感謝状が56名に伝達されました。



—医学部—

◇第13回医学部公開講座の実施

第13回医学部公開講座の開講式を11月4日（土）に医学部第2講堂において行いました。

本講座は10月7日から11月4日までの毎週土曜日、市民一般を対象に「救急医療と災害医療」—阪神大震災の経験から—をテーマとして開講したもので、阪神・淡路大震災時の救急医療、阪神・淡路大震災時に発生した疾病の特徴、循環器疾患の救急医療、子供の救急医療、消化器疾患の救急医療、外傷の救急医療、脳神経疾患の救急医療、災害とストレス、救命救急医療のABC、救急医療と災害医療について概説しました。

なお、受講者96名のうち10講義中8講義以上を受講した66名に対し、修了証書を授与しました。

—医学部—

◇第10回神戸大学医学部学術講演会

第10回神戸大学医学部学術講演会が11月15日（水）午後4時から医学部第5講堂において、講演者に国立民族学博物館顧問・文化勲章受章者梅棹忠夫博士をお迎えし、「民族学と国際交流」について医学部長との対談形式により行われ、医学部教職員、学生、一般市民等約200人が参加しました。当初2月15日（水）に開催予定が阪神・淡路大震災により順延となっていたものです。



—医学部—

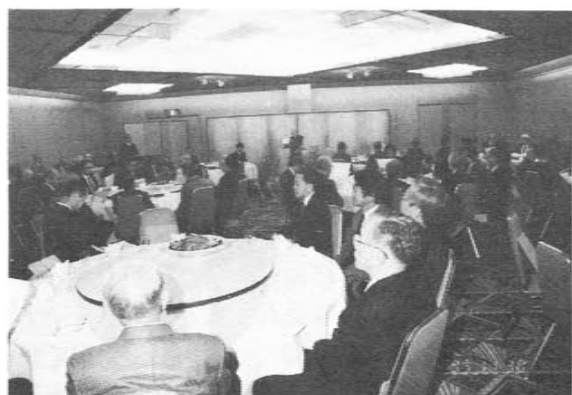
◇平成7年度秋の名誉教授の会の開催

恒例の秋の名誉教授の会が、11月30日（木）午後4時から「新神戸オリエンタルホテル」で開催されました。

会は、細川藤次名誉教授の司会で始まり、西塚学長のあいさつに続いて、今年の春の名誉教授・部局長懇親会以降に亡くなられた

（文）長谷川善計（平成7年10月16日逝去）及び（養）小川 政恭（平成7年10月16日逝去）名誉教授に黙祷が捧げられました。

引き続き、位田正邦名誉教授の音頭で乾杯の後、懇談及び会食に移り、和やかな雰囲気の中に歓談、午後6時過ぎに散会しました。



—庶務課—

◇平成7年度公務員レクリエーション共同行事神戸地区「卓球大会」の実施

神戸地区の官庁職員が相互の親睦を図ることを目的として開催しているレクリエーション行事の「卓球大会」が下記のとおり実施され、熱戦が繰り広げられました。

実施日 11月9日（木）
場 所 兵庫県職員会館
参加機関等 8機関9チーム
（本学から1チーム4名）
成 績 優勝 神戸大学
竹田修子（理学部）
藤井勝宏（工学部）
橋本 誠（医学部附属病院）
古東正宜（医学部附属病院）
—人事課—



◇異動

所属部局 官 職	氏 名	発令 月 日	異 動 内 容 （異動前の所属官職）
国際文化学部			
教 授	吉 岡 政 徳	12. 1	昇任（助教授）
助 教 授	定 延 利 之	〃	〃（講師）
発達科学部			
教 授	平 川 和 文	12. 1	昇任（助教授）
理 学 部			
教 授	松 田 吉 弘	11.16	昇任（助教授）
医 学 部			
評 議 員	山 本 節	11.16	併任（教授）
	森 田 久美子	11.15	11月14日限り任期満了退職（文部事務官）
文部事務官	寺 川 幸 子	〃	復帰（育児休業）
医 学 部 附 属 病 院			
病 院 長	齋 藤 洋 一	11.16	併任（医学部教授）
助 手	平 田 健 一	12. 1	転任（姫路拘置支所医務課長）
耳鼻咽喉科 病 棟 医 長	田 原 真 也	〃	命（講師）
医学部助手	西 村 俊 二	〃	免（耳鼻咽喉科病棟医長）
	佐々木 ゆかり	11.13	育児休業（看護婦）
看 護 婦	杉 本 裕 子	12. 1	臨時的任用
	杉 本 裕 子	11.30	辞職（技術補佐員）
工 学 部			
教 授	沖 村 孝	11.16	昇任（工学部附属土地造成工学研究施設助教授）
大学院文化学 研 究 科			
助 手	過 放	11.16	採用
医 療 技 術 短 期 大 学 部			
	山 口 貴 子	11. 6	育児休業（文部事務官）
文部事務官	尾 上 知恵子	〃	臨時的任用
	尾 上 知恵子	11. 2	辞職（事務補佐員）

◇研修

*平成7年度国立大学等国際交流担当職員研修
 期 間 平成7年10月30日～11月2日
 会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター
 主 催 文部省
 参加者 庶務部国際交流課国際企画掛 高木 礼子

*平成7年度漢籍担当職員講習会（初級）
 期 間 平成7年11月6日～11月10日
 会 場 京都大学人文科学研究所附属東洋学文献センター
 主 催 文部省
 京都大学人文科学研究所附属東洋学文献センター
 参加者 附属図書館情報サービス課 情報サービス第五掛 山崎真知子

*平成7年度大学図書館職員講習会
 期 間 平成7年11月7日～11月10日
 会 場 大阪大学コンベンションセンター
 主 催 文部省及び大阪大学附属図書館
 参加者 附属図書館情報管理課雑誌掛 渡辺 由佳
 “ “
 情報管理第三掛 菊池 一長

*平成7年度国立大学等地区別国際交流担当職員研修
 期 間 平成7年11月8日～11月10日
 会 場 京都大学附属図書館
 共 催 文部省及び京都大学
 参加者 庶務部国際交流課国際学術掛長 榎原千鶴子
 理学部庶務掛庶務主任 田中 謹一

*平成7年度近畿地区国立学校事務電算化担当職員A研修
 期 間 平成7年11月9日～11月17日
 会 場 関西地区大学セミナーハウス
 共 催 文部省及び大阪大学
 参加者 経理部主計課管財掛 高安 健一
 発達科学部教務掛 谷林 径明
 医学部医事課医療情報処理掛 長井 勝典

*平成7年度留学生担当者研修会
 期 間 平成7年11月20日～11月22日
 会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター
 主 催 文部省
 （財）日本国際教育協会
 外国人留学生問題研究会（JAFSA）
 参加者 庶務部留学生課留学生センター掛長 井村 和彦



◇海外渡航

所 属	職 名	氏 名	渡 航 先	渡 航 目 的	渡航期間	備 考
事 務 局	留学生課 長	坪内 陽典	中華人民共和国	1995年「日本留学フェア」参加	7.11.30 ～ 7.12. 4	出 張
文 学 部	教 授	北原 淳	“	アジア社会学会報告及び江蘇省農村視察	7.11. 1 ～ 7.11.11	研 修
“	“	山田 敬三	“	復旦大学との共同研究及び中国文学に関する資料収集	7.11. 7 ～ 7.11.10	出 張
国際文化学 部	助教授	天野 郡壽	大韓民国	韓国における大学生のスポーツ活動に関する歴史及び現状についての調査研究	7.11. 2 ～ 7.11. 6	研 修
“	教 授	倉沢 行洋	中華人民共和国	中国茶文化研究者との学術交流及び資料収集	7.11. 2 ～ 7.11. 5	“
“	“	安井 三吉	“	復旦大学との学術交流及び中国近現代史に関する資料収集	7.11. 7 ～ 7.11.10	出 張
“	“	魚住 和晃	“	南岳衡山国際書画篆刻大賽及び研討会出席並びに書画に関する資料収集	7.11.19 ～ 7.11.29	研 修
発達科学部	“	鈴木 正幸	連合王国	文部省学術国際局の委託による外国人学校に関する調査研究	7.11. 1 ～ 7.11.12	出 張
法 学 部	“	下井 隆史	オーストリア	「日独比較法セミナー」に出席し、ウィーン大学法学部教授と共同研究を行うため	7.11. 1 ～ 7.11. 8	研 修
“	“	宮澤 節生	アメリカ合衆国	アメリカ犯罪学会1995年年次大会出席	7.11.14 ～ 7.11.20	“
“	“	木戸 蒨	ロシア ポーランド ハンガリー	「スラブ・ユーラシアの変動」の研究を行うにあたり、ロシア・東欧諸国の研究者のプロジェクトに対する意見聴取	7.11.18 ～ 7.11.26	出 張
“	“	阿部 泰隆	ニュージーランド	自然環境保全法制の国際比較研究	7.11.22 ～ 7.12. 4	“
経済学部	助教授	加藤 弘之	中華人民共和国	中国の地方行財政に関する調査	7.11. 1 ～ 7.11. 6	研 修
“	教 授	中谷 武	台湾 香港	東南アジア港湾調査	7.11. 2 ～ 7.11. 6	“
“	助教授	地主 敏樹	アメリカ合衆国	兵庫県南部地震総合研究に関する調査研究	7.11.14 ～ 7.11.18	出 張
“	“	萩原 泰治	“	“	“	“
“	“	谷崎 久志	“	「計量経済学におけるシミュレーションに基づいた推測」学会出席及び計量・情報経済に関する資料収集	7.11.16 ～ 7.11.24	研 修
“	“	三谷 直紀	オーストラリア	「日本の労働事情に関する国際セミナー」にパネラーとして出席するため	7.11.20 ～ 7.11.26	出 張

経営学部	教 授	岡部 孝好	大韓民国	国際会計問題アジア太平洋会議出席	7.11. 8 } 7.11.12	研 修
"	"	本多 佑三	アメリカ合衆国	金融及び計量経済学に関する研究打合せ	7.11.16 } 7.11.23	出 張
"	"	加護野忠男	台湾 シンガポール マレーシア 香港	東南アジアにおけるベンチャービジネス並びにベンチャーキャピタルの実態調査	7.11.19 } 7.11.27	研 修
理 学 部	"	磯野 克己	アメリカ合衆国	National Center for Genome Resource (NCGR) におけるDNAデータベース構築の実態調査	7.11.28 } 7.12. 3	出 張
医 学 部	助 手	長嶋 達也	大韓民国	第3回アジア・オセアニア頭蓋底外科学会発表	7.11. 1 } 7.11. 3	研 修
"	"	原 淑恵	"	第3回アジア・オセアニア頭蓋底国際コンgres参加	"	"
"	"	中村 貢	"	第3回アジア・オセアニア頭蓋底国際コンgres出席	"	出 張
"	教 授	川端 眞人	オーストラリア ソロモン諸島	ソロモン諸島のマラリア対策のため	7.11. 1 } 7.11.22	"
"	助 手	高田 哲	フィリピン	第27回 International Congress on Pathophysiology of Pregnancy 出席及び周産期医療に関する研究交換	7.11. 4 } 7.11. 8	"
"	講 師	江原 一雅	台湾	第9回アジア・オーストラリア脳神経外科国際会議出席	"	研 修
"	助 手	村津 裕嗣	アメリカ合衆国	第2回日米加整形外科基礎学会出席	7.11. 4 } 7.11.10	出 張
"	"	佐浦 隆一	"	第2回日米加整形外科基礎学会出席及び整形外科学に関する研究交換	"	"
"	"	飯島 一誠	"	第28回アメリカ腎臓学会出席及び腎臓学に関する研究交換	7.11. 4 } 7.11.11	研 修
"	講 師	松尾 博哉	インドネシア	「絨毛癌発生にかかわる遺伝子変化」の検索協力	7.11. 5 } 7.11.10	出 張
"	助 手	原 淑恵	台湾	第9回アジア・オーストラレイシア脳神経外科コンgres参加	7.11. 6 } 7.11. 8	"
"	"	乾 明夫	アメリカ合衆国	トランスジェニック技術を用いた行動の分子基盤に関する研究のため	7.11. 6 } 7.11.13	"
"	講 師	佐野 公彦	"	米国神経学会議出席及び小児科学に関する研究打合せ	7.11. 6 } 7.11.18	"
"	教 授	石川 雄一	"	第12回国際DALM会議出席、第68回米国心臓病学会議出席及び脂質代謝・動脈硬化に関する研究打合せ	7.11. 6 } 7.11.19	"
"	"	佐藤 茂秋	フィリピン	WHO西太平洋地域事務局に所属する国々の癌に関する疫学調査のまとめ	7.11. 8 } 7.11.18	"

医 学 部	講 師	西野 直樹	アメリカ合衆国	第25回米国神経科学会出席、発表及び生物学的精神医学に関する研究交換	7.11.10 } 7.11.18	研 修
"	"	白川 治	"	第25回米国神経科学会出席及び生物学的精神医学に関する研究交換	"	"
"	助 手	柿木 達也	"	第25回米国神経科学会参加、発表及び生物学的精神医学に関する研究交換	"	"
"	教 授	石川 齊	香港	第11回西太平洋整形外科学会出席	7.11.11 } 7.11.15	出 張
"	助教授	平田総一郎	"	"	"	研 修
"	教 授	横山 光宏	アメリカ合衆国	第68回アメリカ心臓病学会議並びに内科学に関する研究交換に出席のため	7.11.11 } 7.11.19	"
"	"	尾原 秀史	台湾	第10回国際人工臓器学会出席及び麻酔学に関する研究交換	7.11.12 } 7.11.15	"
"	講 師	三川 勝也	"	第1回 International Symposium of Medical Gas and Water 出席及び集中治療医学に関する研究交換	"	"
"	"	江原 一雅	アメリカ合衆国	第7回レクセル・ガンマナイフサエティ国際会議出席	7.11.12 } 7.11.16	出 張
"	教 授	水野 耕作	香港	第11回西太平洋整形外科学会出席	"	研 修
"	講 師	川原 康洋	アメリカ合衆国	第68回アメリカ心臓学会出席及び循環器学に関する研究交換	7.11.12 } 7.11.17	"
"	"	川嶋成乃亮	"	第68回米国心臓病学会出席及び内科学に関する研究交換	7.11.12 } 7.11.19	"
"	助 手	谷口 隆弘	"	"	"	"
"	"	竹内 素志	"	第68回米国心臓病会議出席及び心不全に関する研究交換	7.11.12 } 7.11.21	出 張
"	助教授	松本 明	香港	第5回アジア・オセアニア国際老年病学会出席及び研究発表	7.11.20 } 7.11.23	研 修
"	教 授	尾原 秀史	シンガポール	第9回アセアン麻酔学会出席及び麻酔学に関する研究交換	7.11.21 } 7.11.27	"
"	助 手	正井 栄一	アメリカ合衆国	RSNA '95会議出席及び衛生学に関する研究交換	7.11.23 } 7.12. 2	出 張
"	"	楠本 昌彦	"	第81回北米放射線学会出席及び放射線医学に関する研究交換	7.11.24 } 7.12. 1	"
"	教 授	河野 通雄	"	"	7.11.26 } 7.12. 1	"

医学部	教授	新福 尚隆	インドネシア	アイルラング大学熱帯病センター建設計画基本設計調査	7.11.26 7.12. 9	出張
工学部	“	瀧 和男	アメリカ合衆国	国際会議出席及び研究資料収集	7.11. 2 7.11.10	“
“	“	松本 衛	オーストラリア 台湾	空調における氷蓄熱システムに関する調査	7.11. 4 7.11.15	研修
“	“	羽根田博正	アメリカ合衆国	1995年度IEEE産業エレクトロニクス国際会議出席及び研究調査	7.11. 4 7.11.16	出張
“	助教授	道奥 康治	中華人民共和国	巨大都市の水環境平衡に関する研究資料収集打合せ	7.11. 5 7.11.11	“
“	助手	田川 聖治	アメリカ合衆国	国際会議出席	7.11. 6 7.11.12	“
“	教授	森脇 俊道	大韓民国	超精密工作機械に関する研究指導	7.11. 8 7.11.14	“
“	助手	大倉 和博	アメリカ合衆国	人工神経回路網の工学応用に関する国際会議出席及び研究資料収集	7.11.11 7.11.17	研修
“	教授	室崎 益輝	台湾	第16回中日工程技術検討会出席及び講演	7.11.19 7.11.23	“
“	“	黒田 勝彦	アメリカ合衆国 メキシコ	米国、メキシコにおける港湾の災害復旧計画及び事業に関する調査	7.11.19 7.11.29	“
“	助教授	藤居 義和	タイ	第2回アジア結晶学会議出席	7.11.21 7.11.25	“
“	助手	真鍋 圭司	シンガポール	国際精密工学会出席	“	“
“	“	小谷 学	オーストラリア	国際会議出席及び発表	7.11.25 7.12. 3	出張
“	助教授	河村 庄造	マレーシア	アジア・太平洋振動会議 '95出席	7.11.26 7.12. 2	“
“	助手	安達 和彦	“	“	“	“
“	“	大倉 和博	オーストラリア	1995IEEEニューラルネットワーク及び進化的計算に関する国際会議出席	7.11.26 7.12. 3	“
“	教授	神吉 博	マレーシア シンガポール	アジア太平洋振動会議1995出席、産業視察及びNANG YANG工科大と研究交流	7.11.26 7.12. 4	“
“	“	岩壺 卓三	マレーシア 香港 オーストラリア	アジア太平洋振動会議及び構造力学、振動、ノイズ、制御に関する国際会議出席	7.11.26 7.12.17	研修
“	講師	玉置 久	オーストラリア	第2回IEEE進化型計算に関する国際会議出席及び研究調査	7.11.27 7.12. 3	出張

工学部	教授	北村 新三	オーストラリア	1995 IEEEニューラルネットワーク及び創発計算に関する国際会議出席	7.11.27 7.12. 3	出張
“	助教授	藤居 義和	ドイツ、スイス フランス、ベルギー 連合王国	結晶材料の研究及び実験施設調査	7.11.28 8. 1.19	“
“	教授	上田 完次	ドイツ	プロラマット95国際会議出席及び生産システムに関する調査	7.11.29 7.12. 3	“
農学部	“	津川 兵衛	フィリピン	クズによる鉱山跡地の緑化研究のため	7.11. 5 7.11.13	研修
“	“	保田 茂	大韓民国	環境保全型農業に関するシンポジウム参加及び発表	7.11.22 7.11.24	“
“	助教授	岡山 高秀	ドイツ	屠殺早期における肉質の客観的評価法に関する研究	7.11.28 8. 1.31	“
自然科学 研究科	助手	金 辰旭	マレーシア	ASIA-PACIFIC VIBRATION CONFERENCE '95に参加及び機械設計に関する資料収集	7.11.26 7.12. 2	出張
国際協力 研究科	教授	西澤 信善	台湾 香港	高雄（台湾）、香港の港湾事情観察のため	7.11. 2 7.11. 6	研修
“	“	内田 康雄	ベトナム	プライマリーヘルスケア・保健医療システムとファイナンスに関する調査研究	7.11. 6 7.11.12	出張
“	“	初瀬 龍平	中華人民共和国	神戸大学・復旦大学共同研究会「アジア太平洋時代の神戸と上海」出席及び国際行動論に関する調査研究	7.11. 7 7.11.12	研修
“	“	本台 進	インドネシア	「APEC経済政策」受託研究に関する調査研究	7.11.12 7.11.19	出張
“	“	豊田 利久	アメリカ合衆国	兵庫県南部地震総合研究に関する調査研究	7.11.14 7.11.18	“
“	助教授	高橋 基樹	ケニア 連合王国	途上国における望ましい開発政策の在り方に関する調査研究	7.11.17 7.11.29	研修
“	教授	木村 光彦	大韓民国	開発経済論に関する資料収集	7.11.18 7.11.23	“
“	“	松下 洋	ベルギー、フランス、 スペイン、アルゼンチン ブラジル、メキシコ	西半球における地域統合(NAFTA, MERCOSUR)とEUとの関係及びEU諸国の投資等に関する調査研究	7.11.19 7.12. 6	“
“	“	チョウヤンリン	フィリピン	「APEC経済政策」受託研究に係る調査研究	7.11.30 7.12. 3	出張
経済経営 研究所	“	井川 一宏	大韓民国	「21世紀の韓国・日本・中国国際シンポジウム」にて発表のため	7.11.19 7.11.23	“
バイオシ グナル研 究セン ター	“	斎藤 尚亮	アメリカ合衆国	第25回北米神経科学会議出席	7.11.10 7.11.18	“
“	助手	酒井 規雄	“	“	“	“
大学教育 研 究 セン ター	助教授	川嶋太津夫	“	日米大学院カリキュラム比較研究遂行のための資料収集	7.11. 1 7.11.12	“

学 事

◇平成8年度科学研究費補助金研究計画調書の集計結果 —973件を提出—

平成8年度科学研究費補助金の申請は、今年10月下旬に締切り、本学関係分の計画調書を一括して文部省へ提出しました。

部局別・種目別件数は(表1)のとおりで、交付内定は、来年5月上旬頃行われる見込みです。

なお、昭和54年以降の申請及び採択状況は(表2)のとおりです。

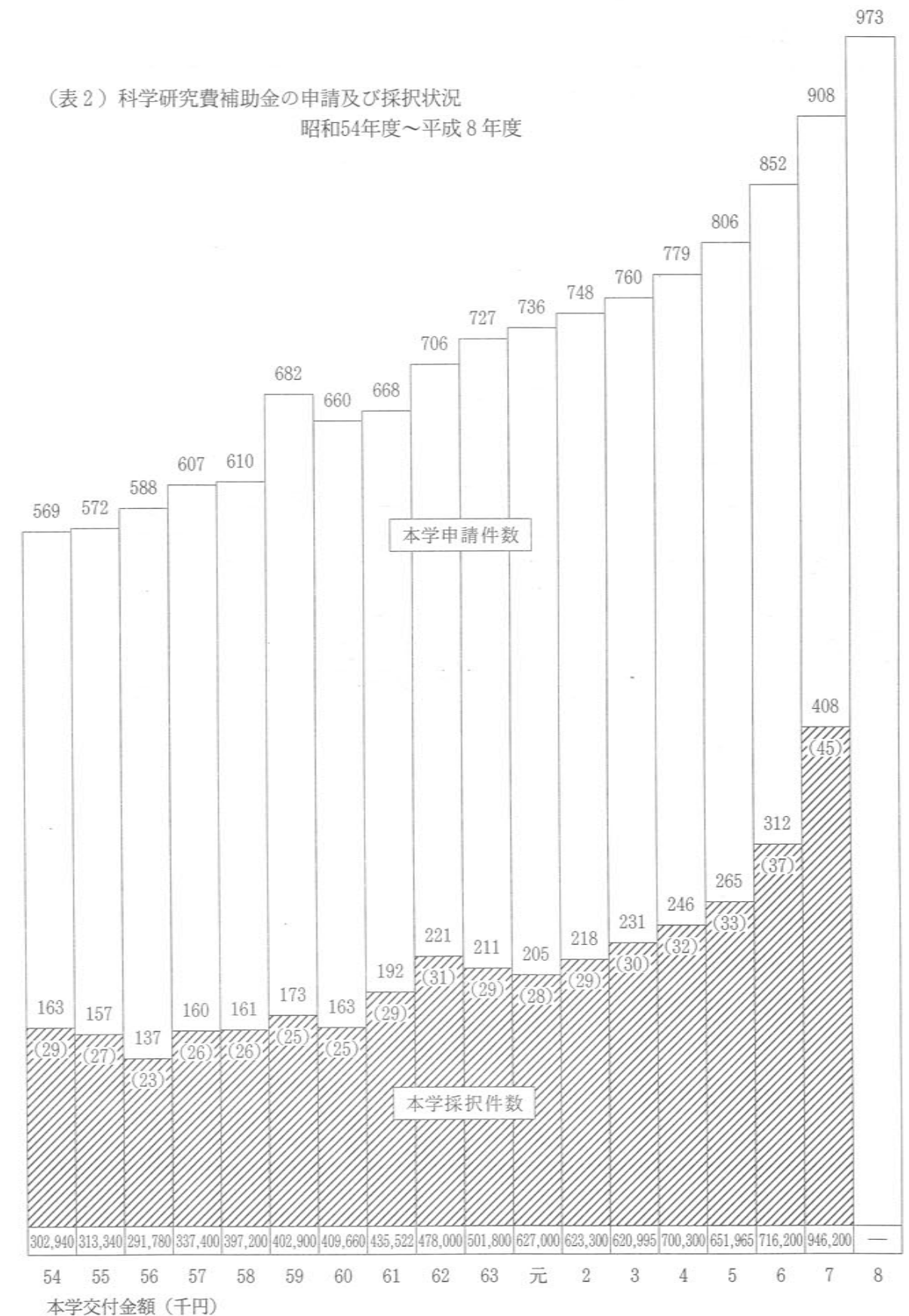
(表1)「平成8年度科学研究費補助金計画調書」部局別・種目別提出件数一覧表

(平成7年12月1日現在)

種 目	文 学 部 (含 文化 学 部)	国 際 文 学 部	発 達 学 部	法 学 部	経 済 学 部	経 営 学 部	理 学 部	医 学 部	医 学 部	医 保 学 部	工 学 部	農 学 部	経 済 学 部	自 然 学 部	国 際 学 部	総 合 学 部	共 同 学 部	遺 産 学 部	大 学 教 育 学 部	留 学 学 部	機 械 工 学 部	セ ン タ ー 機 械 工 学 部	内 海 域 機 械 工 学 部	研 究 セ ン タ ー 機 械 工 学 部	合 計	
特別推進研究(1)																										
特別推進研究(2)							(1) 1																			(1) 1
重点領域研究(1)	2	1						5			2			1	1									1		13
重点領域研究(2)	2	2	5	1		1	34	37	1	16	5		7	1	1			1	3		2		1			120
総 合 研 究 (A)	(1) 3	(1) 1	(2) 5	(1) 2	(1) 1	(1) 2	(1) 6	(1) 6		(1) 6	2	1			1										(8) 36	
総 合 研 究 (B)	1																		1							2
一 般 研 究 (A)			(1) 3				(3) 6	2	1	3	1				(1) 1											(5) 17
一 般 研 究 (B)	1	(3) 6	11	1	2	1	(6) 24	(13) 30	(1) 5	(5) 20	(5) 15	1	(1) 3					1	1	(1) 1			1			(36) 124
一般研究(C) 一般	(3) 10	(6) 16	(2) 29	(4) 5	(3) 7	(2) 7	(5) 39	(32) 121		(10) 58	(5) 24	(5) 10	(2) 10	(2) 4			1		2	2	1	1	1	1		(81) 360
一般研究(C) 時限		1		(1) 1				1	1	(1) 3											2					(2) 9
萌 芽 の 研 究			6		1	1	3	12	3	6	4		3					1	1		2					43
奨 励 研 究 (A)	4	2	6	4	4	2	10	30	5	36	14	1	14	2	2			1	4					1		142
試験研究(A)(1)																										
試験研究(A)(2)							1			(1) 3																(1) 4
試験研究(B)(1)			1					9		(3) 7	(1) 4								1							(4) 22
試験研究(B)(2)			(1) 4				(3) 8	(10) 33	2	(3) 16	(2) 9		(2) 4		1				(1) 2					1		(22) 80
計	(4) 23	(10) 29	(6) 70	(5) 14	(4) 15	(4) 14	(18) 132	(56) 286	(1) 30	(24) 176	(13) 78	(5) 13	(5) 42	(3) 10		4	1	4	(1) 14	(1) 4	7	1	6			(160) 973

(注) () の数は、前年度からの継続課題を示し、内数である。

(表2) 科学研究費補助金の申請及び採択状況
昭和54年度～平成8年度



[注] () 内の数字は、採択率(%)を示す。

◇平成8年度神戸大学学生募集要項（一般選抜）

1 募集人員等

学 部		学 科 等	入学定員	日 程 ・ 募 集 人 員		摘 要		
				前 期 日 程	後 期 日 程			
文 学 部	哲 学 科	30	}	90	}	25		
	史 学 科	30						
	文 学 科	55						
	計	115		90		25		
国際文化学部	コミュニケーション学科	70		55		15		
	地 域 文 化 学 科	70		55		15		
	計	140		110		30		
発達科学部	人間発達科学科	120		86		20		
	人間環境科学科	100	{	文科系受験コース	26	文科系小論文受験コース	10	
				理科系受験コース	39	理科系数学受験コース	5	
	人間行動・表現学科	60	{	音楽受験コース	12	音楽受験コース	6	
				美術受験コース	12	美術受験コース	6	
				体育受験コース	12	体育受験コース	6	
	計	280		187		63		
			社会人特別選抜		30			
法学部	昼間主 コース	法 律 学 科	240		163		77	
	夜間主 コース	法 律 学 科	40		10		5	
				推 薦 入 学			15	
				社会人特別選抜			10	
経済学部	昼間主 コース	経 済 学 科	290		180		50	
	夜間主 コース	経 済 学 科	40	推 薦 入 学			60	
					20		10	
				推 薦 入 学			10	
経営学部	昼間主 コース	経 営 学 科	75	}	230	{	25	前期日程に 帰国子女特 別選抜若干 人を含む。
		会 計 学 科	70					
		市場システム学科	70					
		国際経営環境学科	65					
		計	280					
	夜間主 コース	経 営 学 科	20	}	20	{	20	
		会 計 学 科	10					
		市場システム学科	10					
		国際経営環境学科	10					
		計	50					
		推 薦 入 学		10				

学 部	学 科 等	入学定員	日 程 ・ 募 集 人 員		摘 要
			前 期 日 程	後 期 日 程	
理 学 部	数 学 科	30	22	8	
	物 理 学 科	35	25	10	
	化 学 科	30	23	7	
	生 物 学 科	20	12	8	
	地球惑星科学科	40	30	10	
計		155	112	43	
医 学 部	医 学 科	100	80	20	修業年限 6年 専攻ごとに 募集し選抜 する。
	保健 学科	看護学専攻	80	60	
		検査技術科学専攻	40	30	
		理学療法専攻	20	15	
		作業療法専攻	20	15	
	計		160	120	
工 学 部	建 設 学 科	180	150	30	
	電 気 電 子 工 学 科	110	85	25	
	機 械 工 学 科	120	100	20	
	応 用 化 学 科	120	100	20	
	情 報 知 能 工 学 科	110	80	30	
	計	640	515	125	
農 学 部	応 用 動 物 学 科	27	21	6	
	植 物 資 源 学 科	45	36	9	
	生物環境制御学科	41	33	8	
	生物機能化学科	42	34	8	
	生産環境情報学科	30	24	6	
	計	185	148	37	
合 計		2715	1985	595	
		推薦入学		95	
		社会人特別選抜		40	

2 試験実施方式・日程等

- (1) 本学の入学選抜は、全学部において分離分割方式による前期日程と後期日程で実施する。
- (2) 本学の学部間又は同一学部（学科等）への併願は妨げない。
ただし、「前期－前期」及び「後期－後期」の組合せの併願はできない。
- (3) 2段階選抜を実施する。【法学部夜間主コース（後期日程）、経済学部夜間主コース及び経営学部夜間主コース（後期日程）を除く。】第1段階の選抜は、大学入試センター試験の5教科【理学部の後期日程については指定した3教科、法学部夜間主コース（前期日程）については、指定した4教科、経営学部夜間主コース（前期日程）については、理科を除く4教科（国・社・数・外をそれぞれ100点満点とする）のうち高得点の2教科】の成績等により行う。
- (4) 大学入試センター試験の利用教科・科目、個別学力検査等の実施教科・科目及び教科別配点等は日程、学部等により異なる。
- (5) 欠員補充は、追加合格により行う。

3 出願資格

次のいずれかの資格を有し、かつ各学部等が指定した平成8年度大学入学選抜大学入試センター試験の教科・科目を受験した者とする。

- (1) 高等学校を卒業した者及び平成8年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成8年3月修了見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び平成8年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部大臣の指定したもの
- (4) 文部大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成8年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 文部大臣の指定した者
- (6) 大学入学資格検定に合格した者及び平成8年3月31日までに合格見込みの者で、平成8年3月31日までに18歳に達するもの

(注) 上記(3)の「文部大臣の指定したもの」及び上記(5)の「文部大臣の指定した者」については、平成8年度大学入学選抜大学入試センター試験受験案内の5・6ページを参照すること。

4 出願期間

平成8年1月22日（月）から平成8年1月31日（水）午後5時までに必着するよう郵送のこと。

出願書類の受付は、郵送によるもののみとし、直接持参しても受理しないので、郵便事情を十分考慮して、早めに送付すること。

5 出願手続

(1) 出願方法

志願者は、出願に必要な書類等を取りそろえ、本学所定の封筒を用い、書留速達郵便で出願すること。

出願書類を受理したときは、「検定料領収証書（はがき）」を送付する。

(2) 出願に必要な書類等

書 類 等	備 考
*①入 学 願 書 (整理票)	本学所定の用紙により、「入学願書等記入上の注意」を参照のうえ記入するとともに、平成8センター試験成績請求票（ A 前 A日程・前期日程用又は B 後 B日程・後期日程用のいずれか）を所定の欄にはること。 なお、成績請求票をはるに当たっては、いずれの日程に出願するかを十分確認し、誤りのないように注意すること。
②調 査 書	文部省所定の様式により出身学校長が作成したもの。ただし、大学入学資格検定合格者等は、合格成績証明書をもって、また、災害等により出身学校で調査書の作成が困難な場合は、卒業証明書、成績通信簿、その他出願者が提出できる書類で代えることができる。
*③健康診断書	平成5年度（平成6年3月）以前に高等学校を卒業した者及び大学入学資格検定合格者等調査書を提出することができない者は、本学所定の用紙に医師が作成したものを提出すること。 なお、平成6年度（平成7年3月）高等学校卒業生及び平成7年度（平成8年3月）高等学校卒業見込者は提出する必要はない。
④写 真	3か月以内に撮影したものを整理票の所定の欄にはること。 (上半身、脱帽、正面、縦4cm・横3cm)
⑤検 定 料	16,000円（夜間主コースは9,400円） 郵便為替とし、「指定受取人」欄は記入しないこと。 (注2)を参照。
*⑥検定料領収証書・原符	検定料領収証書・原符及び領収証書裏面（はがき）の所定の欄に出願者の住所、氏名、郵便番号を記入し郵便切手50円をはること。
*⑦入 学 試 験 関 係 書 類 送付用封筒	出願者の住所、氏名、郵便番号を記入し郵便切手350円をはること。 (受験票等送付用)
*⑧住 所 票	出願者の住所、氏名、郵便番号を記入すること。 (合格通知用)
*⑨合格者受験番号一覧表 申 込 票 (電子郵便)	希望者には、合格者発表と同時に電子郵便で当該学部の合格者受験番号一覧表を送付するので、出願者の住所、氏名、郵便番号、電話番号等を記入し郵便切手580円分をはり、申し込むこと。 (注3)を参照。

(注1) *印の書類等は、本学所定の用紙を使用すること。

(注2) 検定料について

- ア) 第1段階選抜の不合格者に対しては、12,500円(夜間主コースは7,500円)を返還する。不合格通知書と同時に発送する「検定料返還請求書」により、平成8年3月31日までに出席した学部に出願すること。
- イ) なお、上記ア)の場合以外は、いかなる理由があっても既納の検定料は返還しない。

(注3) 合格者受験番号一覧表申込票について

- ア) 合格者発表後入学手続までの期間が短いので、その合格を速やかに連絡し、入学手続を円滑にすすめるためのものである。
- イ) 合格者発表の当日か、遅くとも翌日には配達される予定であるが、未着の場合は兵庫県灘郵便局(電話078-882-5213)に問い合わせること。
- ウ) 申し込み者のうち、第1段階選抜不合格者には申込票を返却する。
- エ) 申込票の連絡先に変更があった場合は、速やかに出席した学部に出願すること。

(3) 出願書類等の送付先

志 望 学 部		送 付 先	
文 学 部		〒657 神戸市灘区六甲台町1-1	神戸大学 文 学 部 教 務 学 生 掛
国 際 文 化 学 部		〒657 神戸市灘区鶴甲1丁目2-1	神戸大学 国際文化学部 教務学生第一掛
発 達 科 学 部		〒657 神戸市灘区鶴甲3丁目11	神戸大学 発達科学部 学 生 掛
法学部昼間主コース		〒657 神戸市灘区六甲台町2-1	神戸大学 法 学 部 教 務 学 生 掛
法学部夜間主コース		〒657 神戸市灘区六甲台町2-1	神戸大学 法 学 部 第 二 課 程 掛
経済学部昼間主コース		〒657 神戸市灘区六甲台町2-1	神戸大学 経 済 学 部 教 務 学 生 掛
経済学部夜間主コース		〒657 神戸市灘区六甲台町2-1	神戸大学 経 済 学 部 第 二 課 程 掛
経営学部昼間主コース		〒657 神戸市灘区六甲台町2-1	神戸大学 経 営 学 部 教 務 学 生 掛
経営学部夜間主コース		〒657 神戸市灘区六甲台町2-1	神戸大学 経 営 学 部 第 二 課 程 掛
理 学 部		〒657 神戸市灘区六甲台町1-1	神戸大学 理 学 部 教 務 学 生 掛
医 学 部	医 学 科	〒650 神戸市中央区楠町7丁目5-1	神戸大学 医 学 部 学 部 学 生 掛
	保 健 学 科	〒654-01 神戸市須磨区友が丘7-10-2	神戸大学 医学部保健学科 教 務 学 生 掛
工 学 部		〒657 神戸市灘区六甲台町1-1	神戸大学 工 学 部 教 務 学 生 掛
農 学 部		〒657 神戸市灘区六甲台町1-1	神戸大学 農 学 部 教 務 学 生 掛

(4) 出願についての注意事項

- ア 同一日程グループの二つの大学・学部等に出願することはできない。
即ち、A日程又は前期日程の大学・学部等から一つ、B日程又は後期日程の大学・学部等から一つの合計二つの大学・学部等に出願することができる。
- イ 本学の学部間又は同一学部(学科等)への併願は妨げない。
ただし、「前期-前期」及び「後期-後期」の組合せの併願はできない。
- ウ 国公立大学(私立産業医科大学を含む。)の推薦入学合格者は、出席している本学の個別学力検査等を受験しても入学許可は得られない。
ただし、推薦入学合格者のうち、特別の事情により推薦入学辞退願を当該大学・学部へ提出し、入学辞退を許可された者は除く。
- エ 「前期日程」合格者で、所定の期日までに入学手続を完了した者は、「後期日程」又は「B日程」の大学・学部を受験してもその合格者とはならない。
- オ 一度受理した出願書類等の返却及び記入事項の変更は認めない。
ただし、連絡先に変更があれば、速やかに出席した学部連絡すること。

(5) 出願状況の情報提供

出席状況について次のとおりテレホンサービスによる情報提供を行う。

- ア 電話番号：
〈前期日程〉
*文・国際文化・発達科・法・経済・経営学部 078-803-1414
*理・医・工・農学部 078-803-1415
〈後期日程〉 078-803-1416

- イ 内 容：
前期日程と後期日程別に学部・学科等ごとの出席者数・倍率

- ウ 期 間：
平成8年1月23日(火)午前9時から平成8年2月2日(金)午後5時まで
(ただし、土曜日及び日曜日については情報の更新はしない。)

6 入学者の選抜方法等

(1) 入学者選抜方法等の主な留意事項

- 文学部、国際文化学部、発達科学部、法学部昼間主コース、法学部夜間主コース(前期日程)、経済学部昼間主コース、経営学部昼間主コース、経営学部夜間主コース(前期日程)、理学部、医学部、工学部及び農学部の入学者選抜は、次の資料を総合して行う。
- ア 各学部が指定した平成8年度大学入試センター試験の教科・科目の成績
- イ 各学部が課す平成8年度個別学力検査等の成績
- ウ 調査書の内容
- エ 健康診断の結果

ただし、経営学部昼間主コース（前期日程）は、入学者選抜の際、次の者についてそれぞれ優先的に取扱う。

- ① 大学入試センター試験の5教科（国語・社会・数学・理科・外国語）の総合点（大学入試センターの配点による）の高得点者〔前期日程募集人員の約30％〕
- ② 個別学力検査の3教科（国語・数学・外国語）の総合点の高得点者（①により選抜した者を除く）〔前期日程募集人員の約30％〕

○法学部夜間主コース（後期日程）、経済学部夜間主コース及び経営学部夜間主コース（後期日程）の入学者選抜は、次の資料を総合して行い、個別学力検査等は課さない。

- ア 各学部が指定した平成8年度大学入試センター試験の教科・科目の成績
- イ 調査書の内容
- ウ 健康診断の結果

（文 学 部）

- ア 学科別募集は行わない。
- イ 各学科・専攻課程への所属は、入学後に決定する。

（国際文化学部）

- ア 志望学科は、第二志望も志願することができる。

（発達科学部）

- ア 志望学科は第一志望のみとする。
- イ 前期日程の人間環境科学科を志願する者は、文科系受験コース又は理科系受験コースのいずれかを選択させる。
- ウ 前期日程の人間行動・表現学科を志願する者は、音楽受験コース、美術受験コース又は体育受験コースのいずれかを選択させる。
- エ 後期日程の人間環境科学科を志願する者は、文科系小論文受験コース、理科系数学受験コース又は理科系小論文受験コースのいずれかを選択させる。
- オ 後期日程の人間行動・表現学科を志願する者は、音楽受験コース、美術受験コース又は体育受験コースのいずれかを選択させる。

（経営学部昼間主コース）

- ア 学科別募集は行わない。
- イ 後期日程の個別学力検査は、数学受験コース又は英語受験コースのいずれかを選択させる。
- ウ 各学科への所属は、入学後に決定する。

（経営学部夜間主コース）

- ア 学科別募集は行わない。
- イ 各学科への所属は、入学後に決定する。

（理 学 部）

- ア 前期日程の志望学科については数学科、物理学科、生物学科は第一志望のみとし、化学科、地球惑星科学科は第二志望でも志願することができる。（数学科、物理学科、生物学科を第二志望とすることはできない。）
- イ 後期日程の志望学科については全学科第一志望のみとする。

（医学部保健学科）

- ア 志望専攻は、第一志望のみとする。

（工 学 部）

- ア 志望学科は、第一志望のみとする。

（農 学 部）

- ア 志望学科は第二志望、第三志望も志願することができる。
- イ 第二又は第三志望で合格した者について、欠員の状況により第一又は第二志望に繰り上げることがある。（「入学願書等記入上の注意」⑨を参照。）

（2）2段階選抜

各学部【法学部夜間主コース（後期日程）、経済学部夜間主コース及び経営学部夜間主コース（後期日程）を除く。】では、出願者数が募集人員に対し、次の倍数を超える場合に2段階選抜を実施する。第1段階の選抜は次の選抜方法により行い、その合格者に対して個別学力検査等を行う。

倍 数：前期日程 全学部 約4.5倍

ただし、法学部夜間主コースは約10倍、経営学部夜間主コースは約13倍、
医学部保健学科は約6倍

（発達科学部は学科・受験コースごとに、理学部及び工学部は学科ごとに約4.5倍、
医学部保健学科は専攻ごとに約6倍）

後期日程 経営学部昼間主コース 約13倍（受験コースごとに約13倍）

文学部、国際文化学部、発達科学部、経済学部昼間主コース、理学部、
医学部保健学科、工学部、農学部 約10倍

（発達科学部は学科・受験コースごとに、医学部保健学科は専攻ごとに、
理学部及び工学部は学科ごとに約10倍）

法学部昼間主コース、医学部医学科 約5倍

選抜方法：平成8年度大学入試センター試験の5教科【理学部の後期日程については指定した3教科、法学部夜間主コース（前期日程）については指定した4教科、経営学部夜間主コース（前期日程）については理科を除く4教科（国・社・数・外をそれぞれ100点満点とする）のうち高得点の2教科】の成績（総得点）、調査書の内容。

発表方法：前期日程は2月9日（金）、後期日程は3月1日（金）までに、合格者には合格通知書及び受験票を、不合格者には不合格通知書及び検定料返還請求書を速達郵便で発送する。

なお、2段階選抜を実施しなかった場合は、個別学力検査等の受験票のみ発送する。

前期日程は2月15日（木）、後期日程は3月7日（木）までに未着の場合は、出願した学部にお問い合わせること。

※第1段階の選抜について次のとおりテレホンサービスによる情報提供を行う。

電話番号 078-803-1414

〔前期日程〕 平成8年2月9日（金）午前9時から平成8年2月13日（火）午後5時まで

〔後期日程〕 平成8年3月1日（金）午前9時から平成8年3月7日（木）午後5時まで

(3) 試験期日及び時間割

◎ 前期日程

文学部, 国際文化学部, 法学部昼間主コース, 経済学部昼間主コース 発達科学部 (人間環境科学科) 文科系受験コース		
月/日	教科等	時 間
2/25(日)	外国語	9:20~10:40 (1時間20分)
	数 学	11:30~12:50 (1時間20分)
	国 語	14:30~16:10 (1時間40分)

理学部, 医学部医学科, 工学部, 農学部, 発達科学部 (人間環境科学科) 理科系受験コース		
月/日	教科等	時 間
2/25(日)	外国語	9:20~10:40 (1時間20分)
	数 学	11:30~13:30 (2時間)
	理 科	14:30~16:30 (2時間)

発達科学部 (人間発達科学科)		
月/日	教科等	時 間
2/25(日)	外国語	9:20~10:40 (1時間20分)
	数 学	11:30~12:50 (1時間20分)
	国 語	14:30~16:10 (1時間40分)
	理 科	14:30~16:30 (2時間)

(注) 発達科学部の人間発達科学科の志願者は, 出願時に選択した教科の時間に受験すること。

法学部 夜間主コース		
月/日	教科等	時 間
2/25(日)	国 語	14:30~15:50 (1時間20分)

経営学部 昼間主コース		
月/日	教科等	時 間
2/25(日)	外国語	9:20~10:40 (1時間20分)
	数 学	11:30~12:50 (1時間20分)
	国 語	14:30~15:50 (1時間20分)

経営学部 夜間主コース		
月/日	教科等	時 間
2/25(日)	外国語	9:20~10:40 (1時間20分)

発達科学部 人間行動・表現学科 [音楽受験コース]		
月/日	教科等	時 間
2/25(日)	外国語	9:20~10:40 (1時間20分)
	数 学	11:30~12:50 (1時間20分)
	(注) 国 語	14:30~16:10 (1時間40分)
	理 科	14:30~15:30 (1時間)
2/26(月)	実 技	午前9時30分から試験開始
2/27(火)	実 技	実施する場合があります

発達科学部 人間行動・表現学科 [美術受験コース]		
月/日	教科等	時 間
2/25(日)	外国語	9:20~10:40 (1時間20分)
	数 学	11:30~12:50 (1時間20分)
	(注) 国 語	14:30~16:10 (1時間40分)
	理 科	14:30~15:30 (1時間)
2/26(月)	実 技	午前9時30分から試験開始

発達科学部 人間行動・表現学科 [体育受験コース]		
月/日	教科等	時 間
2/25(日)	外国語	9:20~10:40 (1時間20分)
	数 学	11:30~12:50 (1時間20分)
	(注) 国 語	14:30~16:10 (1時間40分)
	理 科	14:30~15:30 (1時間)
2/26(月)	実 技	午前9時30分から試験開始

(注) 発達科学部の人間行動・表現学科の志願者は, 2月25日の個別学力検査では出願時に選択した教科の時間に受験すること。

医学部 保健学科		
月/日	教科等	時 間
2/25(日)	外国語	9:20~10:40 (1時間20分)
	数 学	11:30~13:30 (2時間)
	理 科	14:30~15:30 (1時間)
	面接 (作業療法専攻受験者のみ)	16:00~

◎ 後期日程

文 学 部		
月/日	教科等	時 間
3/12(火)	外国語	9:20~10:40 (1時間20分)
	小論文	11:30~13:30 (2時間)

(人間発達科学科) 発達科学部 (人間環境科学科) 文科系小論文受験コース (人間環境科学科) 理科系小論文受験コース		
月/日	教科等	時 間
3/12(火)	小論文	9:20~11:50 (2時間30分)

発達科学部 (人間環境科学科) 理科系論文受験コース 工学部 (機械工学科)		
月/日	教科等	時 間
3/12(火)	数 学	11:30~13:30 (2時間)

法学部 昼間主コース		
月/日	教科等	時 間
3/12(火)	論 文	9:20~12:20 (3時間)

経営学部 昼間主コース (英語受験コース), 理学部 (生物学科)		
月/日	教科等	時 間
3/12(火)	外国語	9:20~10:40 (1時間20分)

理学部 (数学科・化学科), 農学部, 工学部 (機械工学科を除く)		
月/日	教科等	時 間
3/12(火)	外国語	9:20~10:40 (1時間20分)
	数 学	11:30~13:30 (2時間)

理学部 (地球惑星科学科)		
月/日	教科等	時 間
3/12(火)	小論文	9:20~12:20 (3時間)

国際文化学部, 経済学部 昼間主コース		
月/日	教科等	時 間
3/12(火)	外国語	9:20~10:40 (1時間20分)
	数 学	11:30~12:50 (1時間20分)

発達科学部 (人間行動・表現学科) 音楽受験コース		
月/日	教科等	時 間
3/12(火)	実 技	午前9時30分から試験開始
3/13(水)	実 技	実施する場合があります

発達科学部 (人間行動・表現学科) 美術受験コース		
月/日	教科等	時 間
3/12(火)	実 技	午前9時30分から試験開始

発達科学部 (人間行動・表現学科) 体育受験コース		
月/日	教科等	時 間
3/12(火)	実 技	午前9時30分から試験開始

経営学部 昼間主コース (数学受験コース)		
月/日	教科等	時 間
3/12(火)	数 学	11:30~12:50 (1時間20分)

理学部 (物理学科)		
月/日	教科等	時 間
3/12(火)	外国語	9:20~10:40 (1時間20分)
	数 学	11:30~13:30 (2時間)
	小論文	14:30~16:30 (2時間)

医学部 医学科		
月/日	教科等	時 間
3/12(火)	総合筆記 試 験	9:20~12:20 (3時間)

医学部 保健学科		
月/日	教科等	時 間
3/12(火)	総合筆記 試 験	9:20~11:20 (2時間)
	面接	13:00~

(4) 試験場及び交通機関

◎ 前期日程〔2月25日(日)・26日(月)〕

学 部	試 験 場	所 在 地	交 通 機 関
文 学 部	第 1 試 験 場 (神戸大学文学部学舎)	神戸市灘区 六甲台町1-1	市バス36系統「神大文・理・農学部前」下車
国際文化学部	第 2 試 験 場 (神戸大学工学部学舎)	神戸市灘区 六甲台町1-1	市バス36系統「神大本部・工学部前」下車
発達科学部	第 3 試 験 場 (神戸大学発達科学部学舎)	神戸市灘区 鶴甲3丁目11	市バス36系統「神大教育・発達科学部前」下車
法 学 部 昼間主コース 夜間主コース	第 4 試 験 場 (神戸大学法学部学舎)	神戸市灘区 六甲台町2-1	市バス36系統「神大正門前」下車
経 済 学 部 昼間主コース	第 5 試 験 場 (神戸大学経済学部学舎)	神戸市灘区 六甲台町2-1	市バス36系統「神大正門前」下車
経 営 学 部 昼間主コース 夜間主コース	第 6 試 験 場 (関西学院大学)	西宮市上ヶ原 一番町1-155	阪急今津線甲東園、仁川駅から西へ徒歩約15分、または甲東園駅から阪急バスで5分、関西学院前下車
理 学 部	第 7 試 験 場 (神戸大学理学部学舎)	神戸市灘区 六甲台町1-1	市バス36系統「神大文・理・農学部前」下車
医 学 部 (医学科)	第 8 試 験 場 (コロンビア学院)	神戸市中央区 花隈町25-15	神戸高速「花隈」下車、北へ徒歩3分 阪神電鉄・JR「元町」西口下車、北西へ徒歩10分
医 学 部 (保健学科)	第 9 試 験 場 (神戸大学医学部保健学科学舎)	神戸市須磨区 友が丘7-10-2	神戸市営地下鉄「名谷」下車、南へ徒歩15分
工 学 部	第 10 試 験 場 (神戸大学国際文化学部学舎)	神戸市灘区 鶴甲1丁目2-1	市バス16系統「神大国際文化学部前」下車
農 学 部	第 11 試 験 場 (神戸大学農学部学舎)	神戸市灘区 六甲台町1-1	市バス36系統「神大文・理・農学部前」下車

○市バス16系統「六甲ケーブル下行」又は36系統「^{フルカブト}鶴甲団地行」は、次の最寄駅から乗車できる。

阪神電鉄「御影」、JR「六甲道」、阪急電鉄「六甲」

○試験場には、駐車場がないので、自動車、単車等で来ないこと。

○試験当日、市バスが増発されていますが相当に混雑しますので、余裕をもって試験場に来ること。

◎ 後期日程〔3月12日(火)〕

学 部	試 験 場	所 在 地	交 通 機 関
文 学 部	第 12 試 験 場 (神戸大学文学部学舎)	神戸市灘区 六甲台町1-1	市バス36系統「神大文・理・農学部前」下車
国際文化学部	第 13 試 験 場 (神戸大学工学部学舎)	神戸市灘区 六甲台町1-1	市バス36系統「神大本部・工学部前」下車
発達科学部	第 14 試 験 場 (神戸大学発達科学部学舎)	神戸市灘区 鶴甲3丁目11	市バス36系統「神大教育・発達科学部前」下車
法 学 部 昼間主コース	第 15 試 験 場 (神戸大学法学部学舎)	神戸市灘区 六甲台町2-1	市バス36系統「神大正門前」下車
経 済 学 部 昼間主コース	第 16 試 験 場 (神戸大学経済学部学舎)	神戸市灘区 六甲台町2-1	市バス36系統「神大正門前」下車
経 営 学 部 昼間主コース	第 17 試 験 場 (神戸大学経営学部学舎)	神戸市灘区 六甲台町2-1	市バス36系統「神大正門前」下車
理 学 部	第 18 試 験 場 (神戸大学理学部学舎)	神戸市灘区 六甲台町1-1	市バス36系統「神大文・理・農学部前」下車
医 学 部 (医学科)	第 19 試 験 場 (神戸大学医学部医学科学舎)	神戸市中央区 楠町7-5-1	JR「神戸」・神戸高速「高速神戸」下車、北へ徒歩15分 市営地下鉄「大倉山」下車、北西へ徒歩5分 市バス6系統「大学病院前」下車
医 学 部 (保健学科)	第 20 試 験 場 (神戸大学医学部保健学科学舎)	神戸市須磨区 友が丘7-10-2	神戸市営地下鉄「名谷」下車、南へ徒歩15分
工 学 部	第 21 試 験 場 (神戸大学国際文化学部学舎)	神戸市灘区 鶴甲1丁目2-1	市バス16系統「神大国際文化学部前」下車
農 学 部	第 22 試 験 場 (神戸大学農学部学舎)	神戸市灘区 六甲台町1-1	市バス36系統「神大文・理・農学部前」下車

○市バス16系統「六甲ケーブル下行」又は36系統「^{フルカブト}鶴甲団地行」は、次の最寄駅から乗車できる。

阪神電鉄「御影」、JR「六甲道」、阪急電鉄「六甲」

○市バス6系統「磯上公園前行」又は「三宮行」は、JR「神戸」から乗車できる。

○試験場には、駐車場がないので、自動車、単車等で来ないこと。

○試験当日、市バスが増発されていますが相当に混雑しますので、余裕をもって試験場に来ること。

(7) 健康診断

ア 調査書又は健康診断書による審査の結果、特に必要と認めた者については、事前に通知し、2月25日（日）及び3月12日（火）の個別学力検査等終了後、神戸大学保健管理センターにおいて再検査を実施する。再検査を欠席した者は、不合格とする。

イ 疾病などの異常のため、志望学部・学科等の修学に支障があると判断される者は、入学を許可しないことがある。

7 身体に障害を有する者の出願

身体に障害を有する入学志願者で、受験上及び修学上特別な配慮を希望する者は、原則として平成7年12月15日（金）までに志願する学部に出願して協議すること。

なお、協議に日数を要する場合があるので、できるだけ早く申し出ること。

8 合格者発表

合格者の発表は、次の日程で、出願した学部の掲示場で行うとともに、合格者受験番号一覧表申し込み者には電子郵便で知らせる。電話等による照会には一切応じない。

◎前期日程：平成8年3月8日（金）午前10時（予定）

◎後期日程：平成8年3月22日（金）午前10時（予定）

合格者には、合格通知書及び入学手続関係書類等を速達郵便で送付する。

なお、電子郵便は合格者発表の当日か、遅くとも翌日には配達される予定であるが、未着の場合は兵庫県灘郵便局（Tel 078-882-5213）に問い合わせること。

9 入学手続

入学試験合格者は、合格した学部において、次により入学手続を行うこと。

入学手続を完了した者には、入学許可書を交付する。

一つの国公立大学（私立産業医科大学を含む。以下同じ）・学部に入入学手続を行った場合は、これを取消して他の国公立大学・学部に入入学手続を行うことはできない。

(1) 入学手続期間・受付時間等

入学手続期間は次のとおりである。

なお、各日程とも受付時間は、午前10時から午後5時まで。

◎前期日程

平成8年3月13日（水）に合格した学部へ入学手続書類等を持参して入学手続を行うこと。郵送による入学手続は認めない。

やむを得ない事情で3月13日（水）に入学手続ができない場合は、3月11日（月）に行うこと。3月13日（水）までに入学手続を完了しない者は、入学辞退者として取扱う。

3月12日（火）は後期日程の試験のため入学手続を行うことはできない。

なお、入学手続を行った者は、B日程又は後期日程を受験していても、その合格者とならない。

◎後期日程

平成8年3月27日（水）に合格した学部へ入学手続書類等を持参して入学手続を行うこと。郵送による入学手続は認めない。

3月27日（水）に入学手続を完了しない者は、入学辞退者として取扱う。

(2) 入学手続場所

合格した学部の事務室

(3) 入学手続書類等

ア 平成8年度大学入学者選抜大学入試センター試験受験票

イ 平成8年度神戸大学受験票

ウ 納付金（下表参照）

エ 印 鑑

オ 入学手続関係書類一式（宣誓書・保証書・身上自署録等、合格通知書と同時に送付したもの）

なお、手続関係書類が未着の場合は、上記ア～エがあれば入学手続はできる。

(4) 納付金

区 分	金 額	摘 要
入 学 料	270,000円 (135,000円)	入学手続時に、郵便為替（合算でもよい）で納付することとし、「指定受取人」欄は記入しないこと。
授 業 料	前期分 223,800円 (111,900円)	
	年 額 447,600円 (223,800円)	

（注1）（ ）内は夜間主コースの金額を示す。

（注2）前期分の授業料については、上記の入学手続期間に納付できない場合、平成8年4月1日から平成8年4月30日までの間に納付すること。

なお、授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も合わせて納付できる。

（注3）入学手続完了者が平成8年3月31日までに入学を辞退した場合には、納付した者の申し出により当該授業料相当額は返還する。

(5) 入学科・授業料の免除

入学科・授業料の免除申請を希望する者は、上記納付金の納入に代えて、「入学科・授業料免除について」を参照のうえ、当該学部で入学手続時に申し出ること。

10 欠員補充

入学手続期間終了後、各学部の募集人員に欠員が生じた場合は、追加合格者の決定を3月28日(木)から3月31日(日)までの間に行う。この場合、追加合格者への通知等は、入学願書に記入している連絡先に電話等により本人に行うので、必ず連絡がとれるよう所在を明らかにしておくこと。追加合格の決定通知を受けた者で、指定された日時までに入学手続を完了しなかった者は、入学辞退者として取扱う。

なお、合格者が入学手続を辞退した場合は、追加合格の対象とならない。

※追加合格について、次のとおりテレホンサービスによる情報提供を行う。

電話番号 078-803-1414

平成8年3月28日(木)午前9時から3月31日(日)午後5時まで(予定)

11 注意事項

- (1)「平成8年度大学入学者選抜大学入試センター試験受験票」及び「平成8年度神戸大学受験票」は個別学力検査、実技検査及び健康診断の当日必ず持参すること。
- (2)「平成8年度大学入学者選抜大学入試センター試験受験票」及び「平成8年度神戸大学受験票」は入学手続にも必要なので、大切に保管すること。
- (3)「平成8年度大学入学者選抜大学入試センター試験受験票」及び「平成8センター試験成績請求票」の再発行を受けた場合は、再発行された受験票及び成績請求票のみが有効である。
- (4)受験のための宿舎の紹介は行っていないが、次のところで斡旋しているので、希望する場合は、下記により「受験宿泊の案内」を請求すること。

○郵送による場合

返信用封筒(定形封筒に郵便番号、住所、氏名を明記し、郵便切手80円分をはったもの)を同封し、次へ請求すること。

〒657 神戸市灘区六甲台町

神戸大学消費生活協同組合旅行センター受験宿泊係

電話番号(078)882-1033(代表)

○FAXによる場合

郵便番号、住所、氏名を明記し、FAX番号(078)882-1697に「受験宿泊の案内」を請求すること。

◇平成8年度神戸大学経済学部昼間主コース推薦入学学生募集要項

1. 募集人員

学部・学科	募集人員
経済学部 経済学科	60人

2. 出願要件

高等学校を平成7年3月卒業又は平成8年3月卒業見込みの者で次の各号に該当し、学力のみならず人物、能力、資質等において特に優れ、高等学校長が責任をもって推薦する者。

- (1)調査書の評定平均値の平均が4.0以上の者
- (2)合格した場合、必ず入学することを確約できる者
- (3)平成8年度大学入試センター試験の下記の教科・科目を受験する者

教科名	科目名	備考
国語	国Ⅰ・Ⅱ	
社会	倫、日、世、地理から1	ただし、高等学校の普通科・理数科の卒業(見込み)者以外の者は左記の科目にかえて「現代社会」を選択できる。
数学	「数Ⅰ」と「数Ⅱ」	ただし、高等学校において「簿記会計」「工業数理」を修得した者は「数Ⅱ」にかえて「簿記会計」か「工業数理」を選択できる。
理科	物、化、生、地学から1	ただし、高等学校の普通科・理数科の卒業(見込み)者以外の者は左記の科目にかえて「理科Ⅰ」を選択できる。
外国語	英、独、仏から1	

(注)「理科」について、2科目以上を受験している場合は高得点の科目の成績を用いる。

3. 推薦人員

各高等学校から推薦できる者は、1校当たり2人以内とする。

4. 出願期間

平成7年12月15日(金)から平成7年12月22日(金)午後5時までに必着するよう郵送のこと。

出願書類の受付は、郵送によるもののみとし、直接持参しても受理しないので、郵便事情を十分考慮して、早めに送付すること。

5. 出願手続

(1) 推薦入学への出願

国公立大学の推薦入学へ出願できるのは、1つの大学・学部のみであるので十分考慮のうえ出願すること。

(2) 出願方法

ア 出願書類は、本学部所定の推薦入学出願用封筒に入れ、出身高等学校長を通じて、「書留速達」により郵送すること。

イ 推薦者が2人の場合は、それぞれ1人分ずつの出願書類を本学部所定の封筒に入れ、それを別の封筒に一括して「書留速達」により郵送すること。

(3) 出願に必要な書類等

書 類 等	備 考
*①入 学 願 書 (整理・受験票)	本学部所定の用紙により、「入学願書記入上の注意」(8ページ)を参照のうえ記入すること。
②セ ン タ ー 試 験 成 績 請 求 票	大学入試センターから送付された平成8センター試験成績請求票のうち、「推薦 国公立推薦入学用」を入学願書の所定の欄にはること。
*③推 薦 書	本学部所定の用紙により出身高等学校長が作成したもの。
④調 査 書	文部省所定の様式により出身高等学校長が作成したもの。
*⑤自 己 推 薦 書	本学部所定の用紙に自筆により記入すること。
⑥写 真	3か月以内に撮影したものを整理票の所定の欄にはること。 (上半身、脱帽、正面、縦4cm・横3cm)
⑦検 定 料	16,000円 郵便為替とし、「指定受取人」欄は記入しないこと。 なお、納付した検定料はいかなる理由があっても返還しない。
*⑧検定料領収証書・原符	本学部所定の用紙に出願者の住所、氏名を記入すること。
*⑨受 験 票 送 付 用 封 筒	本学部所定の封筒に出願者の住所、氏名、郵便番号を記入し郵便切手350円をはること。
*⑩住 所 票	本学部所定の用紙に出願者の住所、氏名、郵便番号及び出身高等学校の学校名、所在地、郵便番号を記入すること。(合否通知用)
*⑪合格者受験番号一覧表 申込票(電子郵便)	希望者には、電子郵便で合格者受験番号一覧表を送付するので、出願者の住所、氏名、郵便番号、電話番号等を記入し郵便切手580円分をはり、申し込むこと。 (合格発表を経済学部掲示場で確認するものは除く。)

(注1) *印の書類等は、本学所定の用紙を使用すること。

(注2) 卒業見込者の調査書については、出願時に最終学年の1学期又は前期までの成績を記載すること。

(注3) 最終学年の2学期までの成績を記載した卒業見込者の調査書は、合格者のみ入学手続時に提出すること。

(注4) 合格者受験番号一覧表申込票について

合格発表と同時に発送し、当日か遅くとも翌日には配達される予定であるが未着の場合は兵庫県灘郵便局(電話078-882-5213)に問い合わせること。

(4) 出願書類の送付先

〒657 神戸市灘区六甲台町2-1 神戸大学経済学部教務学生掛

6. 選 抜 方 法

高等学校長の推薦に基づき、推薦書、調査書及び自己推薦書の内容、大学入試センター試験の成績、健康診断の結果を総合して入学者の選抜を行う。

個別学力検査等は免除する。

(注) 健康診断については、調査書による審査の結果、特に必要があると認めた者については、平成8年1月24日(水)に神戸大学保健管理センターにおいて再検査を実施する。

なお、該当者には、事前に通知する。再検査を欠席した者は不合格とする。

7. 合 格 者 発 表

(1) 合格者の発表は、平成8年2月9日(金)午後2時に経済学部の掲示場に掲示するとともに、合否の結果を、本人及び出身高等学校長に郵送により通知する。

(2) 合格者には、合格通知書及び入学手続に必要な書類等を送付する。

(3) 合格者は、国公立大学(私立産業医科大学を含む。)の個別学力検査等を受験しても入学許可は得られない。

また、合格者が所定の期日までに入学手続をしなかった場合は、合格者としての権利を消失し、出願済の大学・学部の個別学力検査等を受験することも認められない。

ただし、下記8-(2)により推薦入学辞退の許可を得た場合は、この限りではない。

(4) 電話による照会には一切応じない。

8. 合格者が入学を辞退した場合の取扱いについて

(1) 合格者が入学手続を行わなかった場合は、その事情によっては、翌年以降当該高等学校からの推薦入学の出願を受理しないことがある。

(2) 特別の事情による場合は、推薦高等学校長と連署のうえ、その理由を記した「推薦入学辞退願」を平成8年2月15日(木)までに提出し、本学の許可を得ること。

9. 入 学 手 続

入学手続の詳細については、合格発表時に送付する書類によること。入学手続を完了した者には、入学許可書を交付する。

(1) 入学手続期間・受付時間・受付場所

平成8年2月14日(水)又は2月15日(木)に入学手続書類(宣誓書・保証書・身上自署録等)を持参して、経済学部事務室で入学手続を行うこと。

受付時間は、午前10時から午後5時まで。

(2) 納付金

区 分	金 額	摘 要
入 学 料	270,000円	入学手続時に、郵便為替(合算でもよい)で納付することとし、「指定受取人」欄は記入しないこと。
授 業 料	前期分 223,800円 年 額 447,600円	

(注) 前期分の授業料については、上記の入学手続期間に納付できない場合、平成8年4月1日から平成8年4月30日までの間に納付すること。

なお、授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も合わせて納付できる。

(3) 入学科・授業料の免除

入学科・授業料の免除申請を希望する者は、「入学科免除について」「授業料免除について」を参照のうえ、入学科・授業料を納付する前に経済学部教務学生掛まで申し出ること。

10. 推薦入学出願者の個別学力検査等への出願について

出願者は推薦入学者選抜に不合格になった場合にそなえ、一般選抜の「A日程又は前期日程」の大学・学部等から一つ、「B日程又は後期日程」の大学・学部等から一つの合計二つの大学・学部等に自由に出願することができる。

なお、本学部の個別学力検査等に出願する場合は、「平成8年度神戸大学学生募集要項」に基づき、次に掲げる出願手続を行うこと。

(1) 出願期間

平成8年1月22日(月)から平成8年1月31日(水)午後5時までに必着するよう郵送のこと。

出願書類の受付は、郵送によるもののみとし、直接持参しても受理しないので、郵便事情を十分考慮して、早めに送付すること。

(2) 出願方法

志願者は、出願に必要な書類等を取りそろえ、本学所定の封筒を用い、書留速達により郵送すること。

(3) 出願に必要な書類等

書 類 等	備 考
*①入 学 願 書 (整 理 票)	本学所定の用紙により、「入学願書等記入上の注意」を参照のうえ記入するとともに、平成8センター試験成績請求票(A 前 A日程・前期日程用又は B 後 B日程・後期日程用のいずれか)を所定の欄にはること。 なお、成績請求票をはるに当たっては、いずれの日程に出願するかを十分確認し、誤りのないよう注意すること。
②調 査 書	文部省所定の様式により出身高等学校長が作成したもの。
③写 真	3か月以内に撮影したものを整理票の所定の欄にはること。 (上半身、脱帽、正面、縦4cm・横3cm)
④検 定 料	16,000円 郵便為替とし、「指定受取人」欄は記入しないこと。(注2)を参照。
*⑤検定料領収 証書・原符	検定料領収証書・原符及び領収証書裏面(はがき)の所定の欄に出願者の住所、氏名、郵便番号を記入し郵便切手50円をはること。
*⑥入 学 試 験 関 係 書 類 送付用封筒	出願者の住所、氏名、郵便番号を記入し郵便切手350円をはること。 (受験票等送付用)
*⑦住 所 票	出願者の住所、氏名、郵便番号を記入すること。 (合格通知用)
*⑧合格者受験 番号一覧表 申 込 票 (電子郵便)	希望者には、電子郵便で当該学部の合格者受験番号一覧表を送付するので、出願者の住所、氏名、郵便番号、電話番号等を記入し郵便切手580円分をはり、申し込むこと。 (注2)を参照。

(注1) *印の書類等は、「平成8年度神戸大学学生募集要項」の本学所定の用紙を使用すること。

(注2) 検定料の取扱い及び合格者受験番号一覧表申込票については、「平成8年度神戸大学学生募集要項」の注意事項を参照すること。

(4) その他

出願書類を受理したときは、「検定料領収証書(はがき)」を送付する。

11. 注 意 事 項

(1) 出願書類等に不備がある場合には、受理しないことがあるので十分注意すること。

(2) 一度受理した出願書類等の返却及び記入事項の変更は認めない。

ただし、連絡先に変更があれば、速やかに連絡すること。

(3) 平成8年度大学入試センター試験受験票及び平成8年度受験票(神戸大学経済学部推薦入学用)は、入学手続に必要なので大切に保管すること。

(4) 身体に障害を有する入学志願者で、修学上特別な配慮を希望する者は、平成7年12月15日(金)までに経済学部教務学生掛に申し出ること。

なお、協議に日数を要する場合があるので、できるだけ早く申し出ること。

(5) 本募集要項等について、不明な点や受験に関して照会したい事項がある場合は、経済学部教務学生掛に問い合わせること。

(電話 078-803-0312)

◇平成8年度神戸大学夜間主コース推薦入学学生募集要項

1. 推薦入学を実施する学部及び募集人員

学 部	募集人員
法学部夜間主コース	15人
経済学部夜間主コース	10人
経営学部夜間主コース	10人

2. 出 願 要 件

(法学部夜間主コース)

高等学校を平成4年3月以降に卒業した者及び平成8年3月卒業見込みの者で、次の各号に該当し、学力のみならず人物、能力、資質等において特に優れ、高等学校長が責任をもって推薦する者。

- (1) 調査書の評定平均値の平均が4.0以上の者
- (2) 在学中定職に就き勉学する者
- (3) 合格した場合、必ず入学することを確約できる者
- (4) 平成8年度大学入試センター試験の下記の4教科のうち1教科を選択受験する者

教科名	科 目 名	備 考
国 語		
社 会	倫、日、世、地理から1	ただし、高等学校の普通科・理数科の卒業（見込み）者以外の者は左記の科目にかえて「現代社会」を選択できる。
数 学	「数Ⅰ」と「数Ⅱ」	ただし、高等学校において「簿記会計」「工業数理」を修得した者又は文部大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）者は「数Ⅱ」にかえて「簿記会計」か「工業数理」を選択できる。
外国語	英	

(注) 教科・科目の配点は200点とし、科目数を超えて受験した場合は、高得点の教科・科目の成績を用いる。

(経済学部夜間主コース)

高等学校を卒業した者及び平成8年3月卒業見込みの者で、次の各号に該当し、学力のみならず人物、能力、資質等において特に優れ、高等学校長が責任をもって推薦する者。

- (1) 調査書の評定平均値の平均が4.0以上の者
- (2) 在学中定職に就き勉学する者
- (3) 合格した場合、必ず入学することを確約できる者
- (4) 平成8年度大学入試センター試験の数学又は英語を受験する者

教科名	科 目 名	備 考
数 学	「数Ⅰ」と「数Ⅱ」	ただし、高等学校において「簿記会計」「工業数理」を修得した者又は文部大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）者は「数Ⅱ」にかえて「簿記会計」か「工業数理」を選択できる。
外国語	英	

(注) 教科・科目の配点は200点とし、数学又は英語のうちいずれか高得点の成績を用いる。

(経営学部夜間主コース)

高等学校を平成7年3月に卒業した者及び平成8年3月卒業見込みの者で、次の各号に該当し、学力のみならず人物、能力、資質等において特に優れ、高等学校長が責任をもって推薦する者。

- (1) 調査書の評定平均値の平均が4.0以上の者
- (2) 合格した場合、必ず入学することを確約できる者
- (3) 平成8年度大学入試センター試験の下記の4教科のうち外国語を含む2教科を選択受験する者

教科名	科 目 名	備 考
国 語		
社 会	倫、日、世、地理から1	ただし、高等学校の普通科・理数科の卒業（見込み）者以外の者は左記の科目にかえて「現代社会」を選択できる。
数 学	「数Ⅰ」と「数Ⅱ」	ただし、高等学校において「簿記会計」「工業数理」を修得した者又は文部大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）者は「数Ⅱ」にかえて「簿記会計」か「工業数理」を選択できる。
外国語	英、独、仏から1	

(注) 各教科の配点は100点とし、国語、社会、数学を2教科以上受験した場合には、高得点の1教科の成績を用いる。

3. 推 薦 人 員

各高等学校から推薦できる者は、法学部夜間主コースについては、1校当たり3人以内、経済学部及び経営学部の各夜間主コースについては、1校当たり2人以内とする。

4. 出 願 期 間

平成7年12月15日（金）から平成7年12月22日（金）午後5時までに必着するよう郵送のこと。

出願書類の受付は、郵送によるもののみとし、直接持参しても受理しないので、郵便事情を十分考慮して、早めに送付すること。

5. 出 願 手 続

(1) 推薦入学への出願

国公立大学の推薦入学へ出願できるのは、1つの大学・学部のみであるので十分考慮のうえ出願すること。

(2) 出願方法

ア 出願書類は、本学所定の推薦入学出願用封筒に入れ、出身高等学校長を通じて、「書留速達」により郵送すること。

イ 推薦者が2人以上の場合は、それぞれ1人分ずつの出願書類を本学所定の封筒に入れ、それを別の封筒に一括して「書留速達」により郵送すること。

(3) 出願に必要な書類等

書 類 等	備 考
*①入 学 願 書 (整理・受験票)	本学所定の用紙により、「入学願書記入上の注意」を参照のうえ記入すること。
②セ ン タ ー 試 験 成 績 請 求 票	大学入試センターから送付された平成8センター試験成績請求票のうち、「推薦」国公立推薦入学用」を入学願書の所定の欄にはること。
③調 査 書	文部省所定の様式により出身高等学校長が作成したもの。
*④推 薦 書	本学所定の用紙により出身高等学校長が作成したもの。
⑤就職に関する証明書	本学在学中定職に就き勉学する者であることを就職先又は出身高等学校長が証明したもの。様式は特に定めない。 なお、経営学部夜間主コース出願者は提出する必要はない。
*⑥健 康 診 断 書	平成5年度(平成6年3月)以前に高等学校を卒業した者は、本学所定の用紙に医師が作成したものを提出すること。なお、平成6年度(平成7年3月)高等学校卒業者及び平成7年度(平成8年3月)高等学校卒業見込者は提出する必要はない。
⑦写 真	3か月以内に撮影したものを整理票の所定の欄にはること。 (上半身、脱帽、正面、縦4cm・横3cm)
⑧検 定 料	9,400円 郵便為替とし、「指定受取人」欄は記入しないこと。 なお、納付した検定料はいかなる理由があっても返還しない。
*⑨検定料領収証書・原符	本学所定の用紙に出願者の住所、氏名を記入すること。
*⑩受 験 票 送 付 用 封 筒	本学所定の封筒に出願者の住所、氏名、郵便番号を記入し郵便切手350円をはること。
*⑪住 所 票	本学所定の用紙に出願者の住所、氏名、郵便番号及び出身高等学校の学校名、所在地、郵便番号を記入すること。(可否等通知用)
*⑫合 格 者 受 験 番 号 一 覧 表 申 込 票 (電 子 郵 便)	希望者には、電子郵便で当該学部の合格者受験番号一覧表を送付するので、出願者の住所、氏名、郵便番号、電話番号等を記入し郵便切手580円分をはり、申し込むこと。

(注1) *印の書類等は、本学所定の用紙を使用すること。

(注2) 卒業見込者の調査書については、最終学年の第2学期までの成績を記載すること。

(注3) 合格者受験番号一覧表申込票について

ア) 合格発表後入学手続までの期間が短いので、その合格を速やかに連絡し、入学手続を円滑にすすめるためのものである。

イ) 合格者発表の当日か、遅くとも翌日には配達される予定であるが、未着の場合は兵庫県灘郵便局(電話078-882-5213)に問い合わせること。

ウ) 申込票の連絡先に変更があった場合は、速やかに出願した学部に応じること。

(4) 出願書類の送付先

学 部	送 付 先
法学部夜間主コース	神戸大学法学部第二課程掛
経済学部夜間主コース	〒657 神戸市灘区六甲台町2-1 神戸大学経済学部第二課程掛
経営学部夜間主コース	神戸大学経営学部第二課程掛

6. 選 抜 方 法

高等学校長の推薦に基づき、推薦書、調査書の内容、大学入試センター試験の成績、面接及び健康診断の結果を総合して入学者の選抜を行う。

個別学力検査は免除する。

7. 面接の日時・場所

学 部	日	時	場 所
法学部夜間主コース	平成8年1月5日(金)	午後1時30分から	法 学 部 学 舎
経済学部夜間主コース		午後1時30分から	経済学部学舎
経営学部夜間主コース		午前9時30分から	経営学部学舎

8. 健 康 診 断

調査書又は健康診断書による審査の結果、特に必要があると認めた者については、平成8年1月5日(金)に神戸大学保健管理センターにおいて再検査を実施する。

なお、該当者には、事前に通知する。再検査を欠席した者は不合格とする。

9. 合 格 者 発 表

(1) 合格者の発表は、平成8年2月9日(金)午後2時に当該学部の掲示場(正門入る右側)に掲示するとともに、可否の結果を出身高等学校長に通知する。

(2) 合格者には、合格通知書及び入学手続に必要な書類を送付する。

(3) 合格者は、国公立大学(私立産業医科大学を含む。)の個別学力検査等を受験しても入学許可は得られない。

また、合格者が所定の期日までに入学手続をしなかった場合は、合格者としての権利を消失し、出願済の大学・学部の個別学力検査等を受験することも認められない。

ただし、特別の事情があり、推薦を行った出身学校長から2月15日(木)までに合格した学部へ「推薦入学辞退願」を提出し、許可された者は除く。

(4) 電話による照会には一切応じない。

10. 入 学 手 続

入学手続の詳細については、合格発表時に送付する書類によること。入学手続を完了した者には、入学許可書を交付する。

(1) 入学手続期間・受付時間・受付場所

平成8年2月14日(水)又は2月15日(木)に、合格した学部の事務室に入学手続書類(宣誓書・保証書・身上自署録等)を持参して入学手続を行うこと。

受付時間は、午前10時から午後5時まで。

(2) 納付金

区 分	金 額	摘 要
入 学 料	135,000円	入学手続時に、郵便為替（合算でもよい）で納付することとし、「指定受取人」欄は記入しないこと。
授 業 料	前期分 111,900円 年 額 223,800円	

(注) 前期分の授業料については、上記の入学手続期間に納付できない場合、平成8年4月1日から平成8年4月30日までの間に納付すること。

なお、授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も合わせて納付できる。

(3) 入学料・授業料の免除

入学料・授業料の免除申請を希望する者は、「入学料の免除について」、「授業料免除について」(7ページ)を参照のうえ、合格発表後、速やかに当該学部にお問い合わせのこと。

11. 推薦入学出願者の個別学力検査等への出願について

出願者は推薦入学者選抜に不合格になった場合にそなえ、一般選抜の「A日程又は前期日程」の大学・学部等から一つ、「B日程又は後期日程」の大学・学部等から一つの合計二つの大学・学部等に自由に出願することができる。

なお、本学夜間主コースの推薦入学者選抜に不合格になった者が、同一学部の夜間主コースの個別学力検査に出願する場合は、「平成8年度神戸大学学生募集要項」に基づき、次に掲げる出願手続を行うこと。

ただし、平成8年度大学入試センター試験は、法学部夜間主コース、経済学部夜間主コースは、それぞれ指定された4教科を、経営学部夜間主コースは、指定された4教科のうち、前期日程志願者は2教科、後期日程志願者は4教科のすべてを受験しなければならない。

(1) 出願期間

平成8年1月22日(月)から平成8年1月31日(水)午後5時までに必着するよう郵送のこと。

出願書類の受付は、郵送によるもののみとし、直接持参しても受理しないので、郵便事情を十分考慮して、早めに送付すること。

(2) 出願方法

志願者は、出願に必要な書類等を取りそろえ、本学所定の封筒を用い、書留速達により郵送すること。

(3) 出願に必要な書類等

書 類 等	備 考
*①入 学 願 書 (整 理 票)	本学所定の用紙により、「入学願書等記入上の注意」を参照のうえ記入するとともに、平成8センター試験成績請求票(A 前 A日程・前期日程用)又は、(B 後 B日程・後期日程用のいずれか)を所定の欄にはること。なお、成績請求票をはるに当たっては、いずれの日程に出願するかを十分確認し、誤りのないように注意すること。
②調 査 書	文部省所定の様式により出身高等学校長が作成したもの。

*③健 康 診 断 書	平成5年度(平成6年3月)以前に高等学校を卒業した者は、本学所定の用紙に医師が作成したものを提出すること。なお、平成6年度(平成7年3月)高等学校卒業者及び平成7年度(平成8年3月)高等学校卒業見込者は提出する必要はない。
④写 真	3か月以内に撮影したものを整理票の所定の欄にはること。 (上半身、脱帽、正面、縦4cm・横3cm)
⑤検 定 料	9,400円 郵便為替とし、「指定受取人」欄は記入しないこと。(注2)を参照。
*⑥検定料領収証書・原符	検定料領収証書・原符及び領収証書裏面(はがき)の所定の欄に出願者の住所、氏名、郵便番号を記入し郵便切手50円をはること。
*⑦入 学 試 験 関 係 書 類 送 付 用 封 筒	出願者の住所、氏名、郵便番号を記入し郵便切手350円をはること。 (受験票等送付用)
*⑧住 所 票	出願者の住所、氏名、郵便番号を記入すること。(合格通知用)
*⑨合 格 者 受 験 番 号 一 覧 表 申 込 票 (電 子 郵 便)	希望者には、電子郵便で当該学部の合格者受験番号一覧表を送付するの で、出願者の住所、氏名、郵便番号、電話番号等を記入し郵便切手580 円分をはり、申し込むこと。(注2)を参照。

(注1) *印の書類等は、「平成8年度神戸大学学生募集要項」の本学所定の用紙を使用すること。

(注2) 検定料の取扱い及び合格者受験番号一覧表申込票については、「平成8年度神戸大学学生募集要項」の注意事項を参照すること。

(4) その他

出願書類を受理したときは、「検定料領収証書(はがき)」を送付する。

12. 注 意 事 項

(1) 出願書類等に不備がある場合には、受理しないことがあるので十分注意すること。

(2) 出願手続後の書類等の返却及び記入事項の変更は認めない。

ただし、連絡先に変更があれば、速やかに当該学部連絡すること。

(3) 平成8年度大学入試センター試験受験票及び平成8年度受験票(神戸大学法学部、経済学部又は経営学部夜間主コース推薦入学用)は、入学手続に必要なので大切に保管すること。

(4) 受験に関する詳細については、出願者に送付する「推薦入学受験者心得」を参照すること。

(5) 身体に障害を有する入学志望者で、受験上及び修学上特別な配慮を希望する者は、平成7年12月8日(金)までに志願する学部の第二課程掛に申し出ること。

なお、協議に日数を要する場合があるので、できるだけ早く申し出ること。

◇平成8年度大学院学生募集要項（抜粋）

◎修士課程（第Ⅱ期）

研究科	専攻	募集人員	出願期間	試験日	試験場	合格者発表
文学研究科	哲学専攻	8名	H8.1. 9(火) }	H8.2.13(火) H8.2.14(水)	神戸大学 文学部学舎	H8.2.29(木)
	芸術学芸術史専攻	4名				
	社会学専攻	6名				
	史学専攻	14名				
	国文学専攻	8名				
	英米文学専攻	10名				

*募集人員は第Ⅰ期、第Ⅱ期を合わせた数を示す。

◎博士課程前期課程（社会人学生）

研究科	専攻	募集人員	出願期間	試験日	試験場	合格者発表
経営学研究科	マネジメント・システム専攻	若干名	H8.12.11(月)	H8.2. 1(木)	神戸大学 経営学部学舎	H8.2.13(火)
	企業システム専攻	若干名	}			
	経営総合分析専攻	若干名				
	日本企業経営専攻	若干名				

◎博士課程前期課程（大学に3年以上在学する者に係る特別選抜）

研究科	専攻	募集人員	出願期間	試験日	試験場	合格者発表
自然科学 研究科	数 学 専 攻	若干名	H8.2. 5(月) }	H8.2.21(木)	神 戸 大 学 理 学 部 学 舎	H8.3.11(月)
	物 理 学 専 攻	若干名				
	化 学 専 攻	若干名				
	生 物 学 専 攻	若干名	H8.2. 8(木)			
	地球惑星科学専攻	若干名				

◎博士課程前期課程（専修コース）

研究科	専攻	募集人員	出願期間	試験日	試験場	合格者発表
経済学研究科	経済学・経済政策専攻	※18名	H8.2.13(火)～ H8.2.19(月)	H8.2.29(木)	神戸大学 経済学部学舎	H8.3.11(月)
	国際経済専攻			H8.3. 1(金)		

※外国人留学生10人程度を含む

◎博士課程後期課程

研究科	専攻	募集人員	出願期間	試験日	試験場	合格者発表
法学研究科	私法専攻	11名	H8.2. 1(木)～ H8.2. 7(木)	H8.2.29(木)	神戸大学 法学部学舎	H8.3. 8(金)
	公法専攻	12名		H8.3. 1(金)		
	法政策専攻	14名				
経済学研究科	経済学・経済政策専攻	若干名	H8.7.25(火)～ H8.7.31(月)	H8.8.28(月)	神戸大学 経済学部学舎	H8.3.11(月)
	国際経済専攻	若干名		H8.3. 1(金)		
経営学研究科	マネジメント・システム専攻	若干名	H8.2. 5(月) } H8.2. 9(金)	H8.2.28(木) H8.2.29(木)	神戸大学 経営学部学舎	H8.3.22(金)
	企業システム専攻	若干名				
	経営総合分析専攻	若干名				
	日本企業経営専攻	若干名				

◎博士課程後期課程

研究科	専攻	募集人員	出願期間	試験日	試験場	合格者発表
国際協力研究科	国際開発政策専攻	※12名	H8.1.22(月)～ H8.1.29(月)	H8.3. 4(月)	神戸大学 六甲台学舎	H8.3.15(金)
	国際協力政策専攻	※11名				

※外国人留学生を含む

◎博士課程

研究科	専攻	募集人員	出願期間	試験日	試験場	合格者発表
医学研究科	生理学系	16名	H8.1. 8(月) } H8.1.12(金)	H8.2. 1(木) H8.2. 2(金)	神戸大学 医学部学舎	H8.3. 8(金)
	病理学系	8名				
	社会医学系	6名				
	内科学系	14名				
	外科学系	18名				

◎後期3年博士課程

研究科	専攻	募集人員	出願期間	試験日	試験場	合格者発表
文化学研究科	文化構造専攻	6名	H8.1.17(水)～ H8.1.19(金)	H8.2.19(月)	神戸大学 大学院文化学 研究科学舎	H8.2.29(木)
	社会文化専攻	7名		H8.2.21(水)		

◎博士課程後期課程（社会人学生）

研究科	専攻	募集人員	出願期間	試験日	試験場	合格者発表
経営学研究科	マネジメント・システム専攻	若干名	H8.2. 5(月) } H8.2. 9(金)	H8.3. 1(金)	神戸大学 経営学部学舎	H8.3.22(金)
	企業システム専攻	若干名				
	経営総合分析専攻	若干名				
	日本企業経営専攻	若干名				

◇平成8年度大学院学生募集（第2次募集）要項（抜粋）

◎博士後期課程

研究科	専攻	募集人員	出願期間	試験日	試験場	合格者発表
自然科学研究科	生産科学専攻	8名	H8.1. 8(月) } H8.1.12(金)	H8.2. 1(木) H8.2. 2(金)	神戸大学 大学院自然科学 研究科学舎	H8.3. 1(金)
	資源生物科学専攻	4名				
	システム科学専攻	1名				
	生命機能科学専攻	2名				



掲 示 板

◇職員の住所変更等
・住所・住居表示変更

p.71

p.75

p.76

p.80

◇日 誌

(平成7年11月)

11月9日(木) 部局長会議
留学生指導見学会
入試委員会
11日(土)・12日(日)
六甲祭
13日(月) 補導協議会
18日(土) 山口誓子学術振興基金公開講演会
20日(月) 文部省永年勤続者表彰状伝達式
25日(土)・26日(日)
厳夜祭
28日(火) 事務連絡会議
30日(木) 評議会
秋の名誉教授の会



神戸大学100年史編集室だより

ー歴史のひとこまー

前身校の歴史ー神戸高等商業学校における課外活動について(その17)ー

前回までの神戸高等商業学校蹴球部と同様に、大正9年末の学友会総会において一個の独立した部として承認され、翌10年度から正式に学友会予算の割当てを受けることができるようになったのが水泳部である。

ところが、このように正式に水泳部が設立される以前から神戸高商では一部の有志たちが、夏期には水に親しみ、遠泳をしたり、冬期においても寒中水泳を実施したりしていたようである。

例えば『学友会報』第7号(明治40年2月25日発行)には、「遠泳、打出濱行きの記」と題する報告が掲載されている。この遠泳に神戸高商の学生が参加したか否かは明らかではないが、この記事によると、遠泳は明治39年7月下旬頃に実施され、参加人数は約70名程度であったらしい。参加者たちは、20町(約2.2km)組、50町(約5.5km)組、6海里(約11.1km)組の3組に分かれ、学校からそれ程遠くなく、当時神戸の居留外国人たちがボートレースを楽しむために艇庫を置いていた敏馬の浜(現神戸市灘区岩屋中町一帯)を、遠距離組ほど沖合いに出て、午前8時に3組ともスタートした。

最短の20町組は、敏馬の浜をスタートし、都賀川の河口を過ぎ、その当時御影の処女塚古墳付近にあった東明発電所沖がゴールで、50町組の場合はその先の魚崎がゴールで、最長距離の6海里組のゴールは打出の海水浴場であった。

参加者の中には、冷水対策として腹に辛子を塗りつけ、皮膚に肝油を流しつけて準備万端で臨んだけれども、なお厳しい寒さに悩まされたようである。体力の消耗を補うために、付き添いの船から餅をもらって立ち泳ぎしながら頬ばったようで

ある。結果は、20町組に合格したものが7名、50町組は11名で、最長の6海里組の合格者は5名だけで、この5名が打出のゴールに到着したのは午後の1時で、実に5時間泳ぎつづけたことになる。因みにこの5名の合格者の内、4名は小学生で、残り1名も商業学校の生徒で成人は一人もいなかった。

このように明治の末期には、神戸高商の学生の中に水泳に興味をもつ者が出現し、学友会の事業として水泳部を設立せよとの声をあげる者も出てきた。また「水泳部」を名のって夏期の放課後、敏馬の浜で水泳教室を開き、神戸高商の一般学生に対して水泳を教えるようにもなっていた。

こうした夏期の水泳とは趣きを異にした、冬期に心身の鍛練を目的とした寒中水泳が大正期に入って実施されるようになる。『学友会報』第88号(大正4年3月15日発行)には、「修養団主催初冬水泳大会記」と題する記事がある。それによると、同年2月17日の修養団茶話会において岡田英定教授(当時神戸高商の体育教官)の発議に基づき、神戸高商修養団員は翌18日から寒中水泳を試行することになる。当日は団員9名が午後0時5分校門を出発し、敏馬の浜にある神戸高商端艇部の艇庫で脱衣し、3分間水に入った。翌19日は3分間、そして20日には4分間に伸ばしている。

この3日間の試行によって自信をつけた神戸高商修養団員は、団員以外の者にも参加を呼びかけた。その結果毎日4～5人の入会者があり、3月5日の納会までにこの寒中水泳に参加したのは、岡田先生をはじめ予科生が5名、本科1年生が17名、本科2年生が11名、本科3年生が3名の合計37名であった。他に関西学院の先生2名も加わり、毎日平均遊泳者が19.2人、気温の平均が摂氏13.8度、水中の平均温度は摂氏14.9度であった。